

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 27. 5. 20 第 189 回国会第 10 号

5 月 20 日（水）、第 10 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・下村文部科学大臣、菅原財務副大臣、丹羽文部科学副大臣及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。
(参考人) 国立研究開発法人理化学研究所理事 有 信 睦 弘 君

(質疑者及び主な質疑内容)

谷 川 と む君 (自民)

- ・家庭や地域社会で道徳を教えることが難しくなっている現在、道徳を特別の教科と位置付けて学校で教えることには大きな意義があると考えますが、道徳教育用教材「私たちの道徳」の使用状況なども含めた道徳教育の現状について、大臣に伺いたい。
- ・道徳の教科化に当たり、教員の指導力向上、教科書及び評価の在り方についての検討状況を文部科学省に伺いたい。

吉 田 宣 弘君 (公明)

- ・財政制度等審議会財政制度分科会（5月11日）において示された将来にわたる教職員の加配定数の合理化についての考え方及び趣旨について、財務省に伺いたい。また、加配措置の背景にある状況を踏まえた財政措置の必要性について、財務省に伺いたい。
- ・加配措置について、少子化の進行というだけで機械的に削減するのではなく、通級指導やいじめ・不登校対策など、その時々状況に即した対応をすべきであると考えるが、大臣の見解を伺いたい。

郡 和 子君 (民主)

- ・財政制度等審議会財政制度分科会（5月11日）において教育予算の歳出抑制案を示した財務省に対し、教育の質と量を、中・長期的に充実させることの重要性を説明すべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・本国の中学校或いは9年の教育課程を修了しておらず、かつ日本の中学校の学齢を超えている外国籍の子供が、公立の中学校への受入れを断られている実情を是正すべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・国民に対し、外国人材の受入れ・活用などの必要性を丁寧に説明し、都道府県・市町村と連携して、外国人のニーズに応えた夜間学級の設置を促進する必要性について、文部科学省の見解を伺いたい。

鈴 木 義 弘君 (維新)

- ・公立小中学校の通常学級において、学習障害等の発達障害の可能性のある児童生徒数が増加傾向にあるとのことだが、文部科学省の対応を伺いたい。
- ・子供の発達障害については、就学前の早い段階から対応することによって重症化を防ぐことが可能になると考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・学校現場が多く課題を抱える中、教員の質の低下が指摘されているが、その要因をどう捉えているか、大臣に伺いたい。

畑 野 君 枝君 (共産)

- ・就学援助制度の対象外である学齢を超過した夜間中学の生徒に対し、同制度に相当する経済的な支援策が必要と考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・大臣は、新国立競技場の整備計画を変更し、開閉式遮音装置については、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会後に施工するなどの方針を明らかにしたが、事実関係及び今後の整備の進め方を伺いたい。

吉 川 元君 (社民)

- ・国立研究開発法人理化学研究所（以下「理研」という。）の研究不正問題に関し、平成26年6月に外部委員からなる研究不正再発防止のための改革委員会が取りまとめた「研究不正再発防止のための提言書」（以下「提言書」という。）の位置付けと提言書と同年8月に理研が取りまとめた「研究不正再発防止をはじめとする高い規範の再生のためのアクションプラン」との関係について、理研に伺いたい。
- ・提言書は、STAP問題を惹き起こした主な要因として、「画期的な成果の獲得の前には、研究ユニットリーダーの地位にふさわしい者を選考するために必要な手順をいともたやすく省略してしまう」ことを最初に

挙げ、研究者の採用に関して厳しい指摘をしているが、
理研の受け止めに伺いたい。

2 学校教育法等の一部を改正する法律案（内閣提出第49号）

- ・ 下村文部科学大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・ 参考人から意見を聴取することに協議決定しました。